

小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 1〕

3年 () 組 () 番 名前 ()	①~④：技能 (/ 4) ⑤~⑩：知識・理解 (/ 6) 得点 (/ 10)
-----------------------	---

○ 次の計算をしましょう。

①
$$\begin{array}{r} 7306 \\ - 5464 \\ \hline \end{array}$$

② $2100\text{g} - 1\text{kg}400\text{g} =$

○ 次の問いに答えましょう。

③ よし子さんは、 70×32 の筆算の計算を次のようにしました。しかし計算がまちがっています。右がわへ、正しく計算しなおしましょう。

(よし子さんの計算)

$$\begin{array}{r} 70 \\ \times 32 \\ \hline 140 \\ 21 \\ \hline 350 \end{array} \quad \longrightarrow \quad \begin{array}{r} 70 \\ \times 32 \\ \hline \end{array}$$

④ 次の数を、大きいじゅんにならべて、左からかきましょう。

$\frac{9}{6}$, $\frac{4}{6}$, $2\frac{1}{6}$, $1\frac{2}{6}$, 1

⑤ 次の数を数字でかきましょう。

千万を6こ、百万を9こ、一万を2こあわせた数

⑥ () にあてはまる数をかきましょう。

$1\text{km}50\text{m} = ()\text{m}$

⑦ クッキーが36まいありました。家族みんなで食べたので、のこりが14まいになりました。

はじめにあった数 - 食べた数 = のこった数

上のことばの式をつかって、食べたクッキーの数を□まいとして式に表しましょう。

【式】

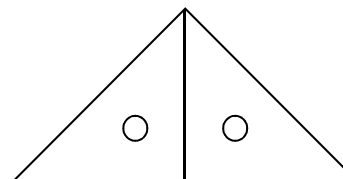
⑧ 下の□の中から、8でわるとあまりが1になる数をすべてえらびましょう。

35, 37, 43, 49, 57, 63, 65, 67

⑨ 右の時計の時こくから、50分たった時こくを答えましょう。



⑩ 同じ三角定規を2まいならべて三角形をつくりました。できた三角形の名前を答えましょう。



小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 1〕

出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

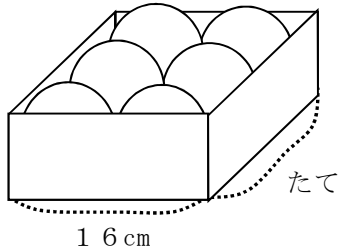
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	(4位数) - (4位数) で，空位の位があり，繰り下がりが2回の筆算ができる。	1842		○			○		80%
②	重さについての減法の計算ができる。	700g		○			○		85%
③	(2位数) × (2位数) の筆算において，どこに間違いがあるかに気付き，正しく計算し直すことができる。	2240		○			○		70%
④	分数の大きさを比較することができる。	$2\frac{1}{6}$, $\frac{9}{6}$, $1\frac{2}{6}$, 1, $\frac{4}{6}$		○			○		80%
⑤	1万をこえる数の構成を理解している。	69020000			○		○		90%
⑥	kmとmとの関係を理解している。	1050			○		○		80%
⑦	□を使った式の表し方を理解している。	$36 - \square = 14$			○		○		90%
⑧	余りの意味を理解している。	49, 57, 65			○	○			80%
⑨	ある時刻から50分後の時刻を求めることができる。	10時10分			○		○		80%
⑩	三角定規で作った形から，どのような三角形かが分かる。	二等辺三角形 (直角二等辺三角形も可)			○		○		85%
合 計 10 問			0	4	6	1	9	0	82%

小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 2〕

3年 () 組 () 番 名前 ()	①～⑤ : 考え方 (得点 / 6)
-----------------------	----------------------

○ 次の問いに答えましょう。

- ① 同じ大きさのボールがぴったりと箱に入っています。この箱のたての長さは何cmでしょう。



- ② ただしさんとなおさんは、たし算の問題づくりゲームをしています。答えもふくめて、ちがう数字が多い方が、勝ちというゲームです。

たとえば $234 + 301$ では

$$\begin{array}{r}
 \boxed{2} \ \boxed{3} \ \boxed{4} \\
 + \boxed{3} \ \boxed{0} \ \boxed{1} \\
 \hline
 \boxed{5} \ \boxed{3} \ \boxed{5}
 \end{array}$$

0, 1, 2, 3, 4, 5の6しゅるいの数字があるので、とく点は6点ということになります。

とく点が7点になる問題をつくりましょう。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{} \ \boxed{} \ \boxed{} \\
 + \boxed{} \ \boxed{} \ \boxed{} \\
 \hline
 \boxed{} \ \boxed{} \ \boxed{}
 \end{array}$$

- 下の表は、たけしさんの学校で、9月、10月、11月に、けがをした3年生の人数とけがのしゅるいを調べてまとめたものです。次の問いに答えましょう。

しゅるい \ 月	9月	10月	11月	合計
すりきず	12	15	9	36
うちみ	ア	11	13	34
ねんざ	3	1	2	6
そのた	6	7	5	18
合計	31	34	29	イ

- ③ 9月から11月までの間で、どのけがをした人が、一番多かったでしょう。

- ④ アにはいる数をもとめる式を、2つかきましょう。

式

式

- ⑤ イにはいる数は、何を表しているでしょう。ことばでかきましょう。

小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 2〕 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

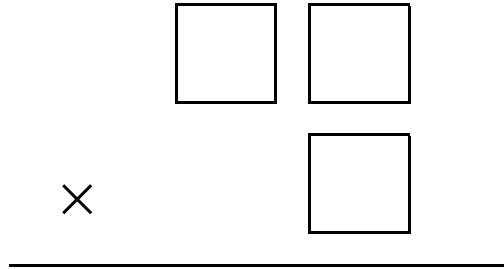
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	球の直径と半径の関係を使って答えを考えることができる。	24 cm	○				○		80%
②	条件に合う加法の筆算の問題を考えることができる。	(例) $\begin{array}{r} 123 \\ +453 \\ \hline 576 \end{array}$	○				○		70%
③	二次元の表から, 尋ねられている項目を読み取り, 答えを考えることができる。	すりきず	○				○		80%
④	二次元の表の項目の意味を読み取り, 9月にけがをした人の合計数や, うちみをした人の合計数から, 答えを求める式を考えることができる。	・ 31 - (12 + 3 + 6) ・ 34 - (11 + 13) ※ () を使っていない式でもよい。	○				○		75%
⑤	二次元の表から, 尋ねられている項目の意味を読み取り, 答えを考えることができる。	(たけしさんの学校で) 9月から11月の間にけがをした3年生の合計人数	○				○		75%
合 計 5 問			5	0	0	0	5	0	76%

小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 3〕

3年 () 組 () 番 名前 ()	①~④: 考え方	得点 (/ 4)
-----------------------	----------	--------------

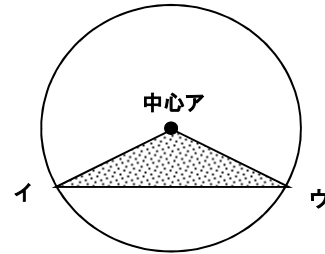
○ 次の問題に答えましょう。

- ① 4, 5, 7の数字を1つずつ使って, (2けた)×(1けた)の筆算のもんだいを作ります。答えが一番大きくなるように□に数字を入れましょう。



○ 次の問題に答えましょう。

- ③ 円を使って次の図のようにかいた三角形は二等辺三角形になります。なぜそうなるのか理由をかきましょう。



- ② えんぴつが1ダースと9本あります。このえんぴつを5本ずつたばにします。何たばできるでしょう。
なお, 1ダースは12本です。

式

答え

- ④ ひろしさんは, $96 \div 3$ の計算のしかたを次のようにせつめいしました。しかし, ひろしさんのせつめいにはまちがいがありません。 $96 \div 3$ の計算を正しくせつめいしましょう。

(ひろしさんのせつめい)

$96 \div 3$ の計算は,
まず, 96を9と6に分けます。
次に, それぞれを3でわります。
 $9 \div 3 = 3$
 $6 \div 3 = 2$
 $3 + 2 = 5$
 $96 \div 3$ の答えは5になります。



(せつめい)

小学校第3学年 単元別確認テスト〔まとめの問題 3〕 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	条件にあった(2位数)×(1位数)の筆算の問題を考 えることができる。	54×7	○				○		80%
②	等分除の問題場面を読み取り, 立式して, 余りを切り捨 てて答えを考えることができる。	(12+9=21) 21÷5=4あまり1 4たば	○				○		80%
③	円の性質や二等辺三角形の特徴をもとに理由を考えるこ とができる。	三角形の2つの辺は円の半径で, 長さが等しい から。	○					○	70%
④	(2位数)÷(1位数)の計算の仕方を説明することが できる。	96÷3の計算は, まず, 96を90と6に分けます。 次に, それぞれを3でわります。 90÷3=30 6÷3=2 最後に, それぞれの答えを合わせます。 30+2=32 96÷3の答えは32になります。	○					○	70%
合 計 4 問			4	0	0	0	2	2	75%